

木彫り熊 100 周年映像制作放送業務 公募型プロポーザル講評

本プロポーザルに係るプレゼンテーションは、木彫り熊100周年を記念して、尾張徳川家がまちづくりに大きくかかわってきた歴史と、その中で始められて100年続いてきた木彫り熊の歴史や魅力が伝わる映像作品を制作し、広く周知するためテレビ番組として放送したうえ、100周年を記念したイベントでの上映をおこない、さらに小中学校や八雲町木彫り熊資料館で活用できるようYouTube等で公開する他、これらの効果を高めるための独自提案を含めたテーマについて、創造性豊かな技術提案をいただきました。

技術提案者によるプレゼンテーション及びヒアリングの中で焦点があてられたのは、映像作品における歴史的事実の伝え方、過去だけでなく未来に向けたメッセージ、そしてテレビ放送とYouTube配信において多くの人に見てもらう工夫でした。

2者による提案内容には、これらへの考え方がさまざまに盛り込まれており、選定委員が的確性や独創性、実現性などの視点に基づき審査するうえでの大きなポイントでもありました。

選定委員会は、プレゼンテーション及びヒアリングの実施後、第1次審査の評価と合わせ最終的な評価を行い、各テーマに対する技術提案について、本業務の内容を十分に理解し、将来を見据えた具体的かつ意欲的な提案と履行体制により確実な制作放送業務が期待できる技術提案者を最優秀（受注候補者）として選定いたしました。

なお、各委員の評価点の合計点は2者とも業務遂行が適切に可能と判断できる点数を上回っており、設定したテーマについて独創的で優れたご提案をいただきましたが、その中でも最優秀者については、これからを担う小中学生を念頭に置きながらも幅広い世代に興味を持ってもらえる作品制作を構想していること、木彫り熊の100年間の歴史とその魅力とともに八雲町の魅力を発信できる等の提案内容が優れていたため、最も高く評価される結果となりました。

木彫り熊100周年映像制作放送業務

プロポーザル選定委員会 委員長 八雲町 副町長 成田 耕治